

開催概要

	開催日時	2026 年 11 月 18 日（水）10:30 ～ 16:10
	開催方法	オンライン（ZOOM ミーティング）
	参加対象	専門職、社協、自治体関係者、自治会・町内会など地域組織のリーダー、民生児童委員や福祉委員、各種ボランティア、NPO、地域づくりに関心のある方。

※ぜひ行政や社協の方は地域づくりを応援している
団体や地域のみなさまと一緒にご参加ください。

	定 員	オンライン参加／なし 会場参加／ 50 人（先着順）
		※分科会 1：町内会・自治会はオンライン視聴限定

参 加 費	個人 4,000 円 団体 20,000 円／自治体や社協等の団体向け参加プラン
--------------	---

主 催	町内・集落福祉全国サミット実行委員会
協 力	南三陸町社会福祉協議会
後 援	全国社会福祉協議会／宮城県社会福祉協議会／南三陸町

お問合せ先	町内・集落福祉全国サミット事務局 （全国コミュニティライフサポートセンター内） 〒983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野 1 丁目 7 - 7 TEL 022-727-8730 E-mail clc@clc-japan.com URL : https://www.clc-japan.com
--------------	--

参加申込はこちら

申込締切：2026 年 11 月 17 日（火）



左記 QR コードまたは下記 URL リンクからお申込みください。

<https://www.clc-japan.com/events/detail/6723>

※お申込み後、記載アドレス宛に確認メールが届きます。
ZOOM の入室 URL 等もご案内します。



開催日時 2026 年 11 月 18 日【水】10:30 ～ 16:10

開催方法 オンライン（ZOOM）ご参加お待ちしております！

開催趣旨

日本では人口減少や少子高齢化が急速に進み、地方では集落機能の維持が難しくなる一方、都市部でも地域のつながりの希薄化による孤立や見守りなど、「暮らしを支える地域の力」が問われています。こうした課題は、一部の地域だけでなく、日本社会全体が向き合うべき共通の課題です。人口減少が先行する地域では、住民同士が互いを気にかけて、一人ひとりの役割を生かした支え合いの実践が進められています。

本サミットでは、地域住民、団体、社会福祉協議会、行政、専門職のみなさまと一緒に人口減少時代においても安心して暮らし続けられる地域のあり方を考えます。そして、現場の実践や課題を全国に発信し、これからの地域づくりや制度づくりにつなげるために開催します。

ポイント

本サミットはこんな場面でご利用いただけます！

- ・全国の実践から、自分たちの地域づくりのヒントが見つかる！
- ・行政・社協・地域包括支援センターとの連携を深めるきっかけに！
- ・社協職員・自治会・福祉委員の研修に！
- ・地域住民が集まる協議体や話し合いの場での視聴にも最適！



町内会・自治会事例

泡瀬第三自治会 (沖縄県沖縄市)

コロナ禍でも「つながりをあきらめない」を合言葉に、子どもランチ、声かけ隊による見守り、地域振興券、道路ボランティアなどを展開。楽しさを入り口に住民参加を広げ、高齢者の見守りや支え合い、防災・地域活性化につなげた自治会活動の実践事例。

仙台市国見地区連合町内会 (宮城県仙台市)

『ひなたぼっこ』を拠点として、身寄りのない高齢者、生活困窮者、障害のある方、DV 被害者など、公的制度だけでは対応が難しい人々を地域全体で支えている。町内会、民生委員、地域包括支援センター、社会福祉法人などが連携し、「住まい」「居場所」「見守り」を提供することで、誰も孤立させない地域共生の仕組みを実現している。

まちづくり四日市役場 (広島県広島市)

築 110 年の古民家を活用して設立された「まちづくり四日市役場」。認知症カフェや地域食堂、男性介護者の会など、多様な機関・住民と連携した居場所づくりを展開。地域を限定せず人を受け入れ、参加者が支え手となる循環や、若い世代の担い手育成にもつながっている。

集落・農村地域事例

兵庫県新温泉町 奥八田地域づくり協議会

人口約 400 人、住民の 4 割が 75 歳以上という超高齢地域で、上山高原などの自然資源や地域文化を次世代へ継承しながら、高齢者の支え合い活動を推進。同時に、もっと小さなエリアでの「一人ひとりが孤立せず前を向いてこの村で生きていく」ための関わりに取り組む事例。

藤里町社会福祉協議会／秋田県 (活躍支援、プラチナバンク)

高齢、認知症、障がいがあっても、自分らしく、楽しく生涯現役をめざせる取り組み。人口 3,000 人の町で、約 400 人がプラチナバンクに登録。町内の公共施設や町の特産品づくりなどさまざまな仕事の依頼を受け、趣味や特技を活かしながら、個々の生活スタイルや希望に合わせて参加できる事例。

宮城県南三陸町 歌津地区／泊浜婦人会

震災後、多くの支援を頂き、「自分たちも何かなくては！」と婦人会を設立。古くから漁業集落として発展した地域で、地域文化や伝統芸能の保存活動が盛んな地区。地域の伝統文化の継承やコミュニティ活動に積極的で、伝統芸能を指導するのは 90 代。イマドキ嫁と姑世代と一緒に活動している。

プログラム

10:30

● 開会・趣旨説明

10:35

● 基調講演「地域の力に頼り過ぎない新たな暮らしの支え方」

島根大学 教育学部社会科教育専攻 教授 作野広和

11:35

● 座談会「暮らしを支える地域の力」

島根大学 教育学部社会科教育専攻 教授 作野広和
南三陸町社会福祉協議会 事務局長 高橋吏佳
中津市社会福祉協議会 生活支援課長 吉田瑞穂

12:30

● 昼食休憩

13:30

● 実践事例 / 分科会

分科会 1 テーマ：町内会・自治会

人口減少や高齢化など、地域を取り巻く環境が変化するなか、町内会・自治会はどのような役割を担っていくのか。各地の実践をもとに、これからの地域組織のあり方を考えます。

● パネラー

- ・泡瀬第三自治会（沖縄県沖縄市）
- ・仙台市国見地区連合町内会（宮城県）
- ・まちづくり四日市役場（広島県広島市）

● サポーター

- ・総務省

● コーディネーター

- ・全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田昌弘

分科会 2 テーマ：集落・農村地域

人口減少が進む集落・農村地域で、暮らしをどう支えていくのか。住民による活動や地域運営組織などの実践をもとに、持続可能な地域づくりを考えます。

● パネラー

- ・兵庫県新温泉町奥八田地域づくり協議会
- ・藤里町社会福祉協議会（秋田県）
- ・宮城県南三陸町歌津地区／泊浜婦人会

● サポーター

- ・厚労省

● コーディネーター

- ・東北福祉大学総合福祉学部 社会福祉学科 教授 高橋誠一

15:10

● まとめ・提言

淡路市社会福祉協議会 事務局長 凧 保憲
全国社会福祉協議会
厚労省
総務省
島根大学 教育学部社会科教育専攻 教授 作野広和

16:10

● 閉会